

情報提供日: 令和8年5月25日

今年の本番は7月26日(日)開催！450年続く、地上14mで妙技を披露する伝統芸能 本市の夏を代表する「撞舞」練習開始(5/31～)

龍ヶ崎市撞舞保存会(事務局:龍ヶ崎市商工観光課)は、本市の夏を代表する催しである国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞(つくまい)」を令和8年7月26日(日)開催に決定しました。あわせて、本番に向けた練習を龍ヶ崎市役所南側駐車場で令和8年5月31日(日)午後5時頃から開始します。

練習日初日は、台座の作製や柱の装飾など、撞柱が作られ、建てられるまでの様子が間近で見られます。

練習は去年の舞男である大石 浩二(おおいし こうじ)さんと小菅 真幸(こすげ まさゆき)さんを中心に行う予定。撞舞本番は舞男2人体制で執り行っており、今年も2人で技を披露する予定です。昨年に引き続き、練習生の参加も予定しており、伝統芸能で課題とされやすい担い手不足を未然に防ぐよう努めています。

報道機関の皆様には、練習及び本番の周知、取材を賜りますようお願いいたします。



▲練習初日のようす(令和7年6月)

【撞舞の概要】

約450年、地域の力によって歴史と伝統が受け継がれてきた、龍ヶ崎の夏の風物詩。高さ14メートルの「撞柱(つくばしら)」に、笛や太鼓の囃子に併せて、唐草模様の袴に雨蛙の面を被った「舞男」と呼ばれる演者が登り、柱の頂上で弓を射ったり、逆立ちをしたり、様々な妙技(右写真)を披露する伝統芸能です。



〈令和8年撞舞日程〉

【日時】令和8年7月26日(日)午後6時頃から

【会場】根町・撞舞通り(龍ヶ崎市3429番地3地先)

※当日の詳細は別途ご案内します

■練習概要

※天候等により、中止になる場合あり

〈初日〉

【日時】令和8年5月31日(日)午後1時30分から 練習用撞柱設置
午後5時頃から 練習開始

【場所】龍ヶ崎市役所南側駐車場(龍ヶ崎市3710番地)

- 荒天の場合は、翌6月1日(月)に順延予定(当日午前中態度決定)
- 5月31日(日)の練習開始は柱の設置状況により、時間が前後します

〈初日以降の練習(予定)〉

令和8年6月7日(日)から7月19日(日)までの毎週日曜日 午後6時頃から

担当課

龍ヶ崎市 市民経済部 商工観光課 商工観光グループ
担当者: 瀧田・山田(たきた・やまだ) 連絡先: 0297-60-1536(直通)

撞舞会場・練習場所のご案内

【撞舞会場】7月26日(日)

根町・撞舞通り(所在地:龍ヶ崎市3429番3地先)

龍ヶ崎市役所から徒歩約8分(700m)

関東鉄道竜ヶ崎線「竜ヶ崎駅」から徒歩約12分(1km)

【練習場所】5月31日以降、7月19日までの毎週日曜日

龍ヶ崎市役所南側駐車場(所在地:龍ヶ崎市3710)

